

3類型	農林水産物	通巻番号	5-20-018
地域資源名	クズ、大和茶	認定日	平成20年7月7日
地域	奈良県吉野郡吉野町	所管省庁	財務省、農林水産省、経済産業省

事業名：クズと大和茶を活用した“業界初”の『葛のジュレ・リキュール』の開発及び販売

会社名：株式会社北岡本店

所在地：奈良県吉野郡吉野町上市61番地

連絡先：TEL：0746-32-2777

H P：http://www.kitaoka-honten.com/

FAX：0746-32-8744

事業概要(新たな活用の視点)

- ・クズの根は古くから吉野葛として澱粉や葛餅に、また、葛根湯として薬用に使われている。
- ・また、大和茶は「大和の茶粥」と称されるように生産が盛んに行われており、奈良県は現在も茶の主要産地である。
- ・本事業では「葛葉を清酒、蒸留酒に漬け込みエキスを抽出」したものに「葛粉のとりみ」を加え、さらに「粉末の大和茶葉」を添加した『葛のジュレ・リキュール』、それを発展させた『梅のジュレ・リキュール』、『柿のジュレ・リキュール』、『吉野杉のジュレ・リキュール』等を開発・販売する。



【クズの花】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・葛葉をアルコールに漬込み、抽出エキス及び葛粉をアルコールに溶かし、とりみ状にする技術とノウハウを開発しており、強味となっている。

◆市場性

- ・最近の酒類マーケットは市場ニーズの健康志向に対応して、リキュール類等の低アルコール化などを求めるマーケットに変化している。
- ・市場ニーズである「健康志向」「女性向き」という嗜好に焦点を合わせ、吉野産の葛、大和茶を前面に打ち出して消費者にアピールする。

◆販路

- ・アンテナショップや展示会・商談会を積極的に活用し、既存の酒販店や流通関係から百貨店や通販まで、幅広く販路を拡大する予定。



【クズの葉】

地域資源における関係事業者との連携

- ・県の試験研究センター等と協力して研究開発を進め、原材料の安定供給に努める。



【大和茶の葉】